

あいら若者まちづくり会議

第1回 テーマ こどもまんなか社会

令和5年7月25日 開催

【お題①】

「こどものための公的な支援機関や、こどもが専門家から支援を受ける場合、どのような形で支援を受けたいと思いますか？」

メールや SNS で相談するのがいいと思いました。その理由は、SNS は私たちの身近にあるツールで、親にも学校の先生にも知られず相談できるからです。

チャットでのやり取りは、言葉の使い方によっては語弊を招くこともあり、トラブルにつながる例もあると聞いていますが、会って相談する前の簡単なやりとりであれば、連絡手段として SNS やメールが活用できるのではないかと思います。

(加治木高校生)

SNS やメールでの相談と、施設に通っての相談がいいと思います。施設に通って相談することで、信頼関係が築けて、疑問に思ったことはすぐ質問できるので、直接顔を合わせて相談するのがいいと思います。

(龍桜高校生)

心理カウンセラーが学校に来てくれるのですが、相談できることを生徒が知らない場合も多いので、先生等、身近な人からの情報発信がきっかけづくりになるのではないかと思います。

(加治木高校生)

いじめを受けたときに相談するとしたら、直接施設に行ったりするので、SNS は使わないです。施設に行かずに自宅に来てもらえると、恥ずかしさがないと思います。

(加治木工業高校生)



最初に声を出すのが難しい初期の段階で SNS やメールを活用できるけれど、解決するためには、直接会って相談するという意見だと思います。

始良市に相談できる専門的な機関がありますが、あっても知らないということは、ないのと同じです。皆さんがどういうツールを使っているか、私たちが知って、情報発信していくのと同時に、皆さんも SNS 以外でも情報を収集する能力(リテラシー)を身につけ、情報を受け取る基盤を作ってください。

全部 SNS から発信するかというと、そうではないこともあります。インスタ等はフォローしてもらわないと見てもらえないので、(見てもらうために)足りないところがあったら、どんどん教えてください。



湯元市長

今の意見は、発信側と受け手側の相互で情報を有効に活用していくということかと思います。

皆さんの優れたスキルを上手く活用していけば、SNS を使って始良市に皆さんの意見を届けることもでき、始良市のためにも役に立つと思います。



石田尾教授

【お題②】

「少子高齢化が進む中、地域の助け合い(こどもから高齢者までの幅広い多世代の交流)を活発にするためにはどのようなことが重要だと思いますか？」

ラジオ体操をすることで色々な世代が集まり、コミュニティができると思います。先日弟をラジオ体操に連れて行くときに会場がわからず、市のホームページで探しましたが、見つかりませんでした。ぜひ市のホームページにラジオ体操の会場を載せてほしいと思います。
(加治木高校生)





湯元市長

そうでしたか。「ラジオ体操会場情報」を載せるようにぜひ検討します。
朝早く起きて同じ会場に集まるということは、非常にいいコミュニケーションの場だ
と思います。



石田尾教授

「地域性」と「交流すること」がコミュニティには必要になりますね。
今の意見を聞いていて、ラジオ体操会場の情報がなければ、逆に、ボランティ
アで情報発信することも、次のステップにつながっていくのではと感じました。

気軽にできる「あいさつ」がいいと思います。地域の人とすれ違う時にあいさつするこ
とがきっかけになり、会話にもつながると思います。 (龍桜高校生)

あいさつをすることが重要だと思います。ボランティアに参加したい人がいると思うん
ですが、あいさつを日頃からしておくことで、地域の人と関わりやすくなると思います。
(加治木工業高校生)



湯元市長

始良市の小・中学生はとてもよくあいさつをしてくれます。高校生になると、どうで
しょうか。欧米では、あいさつは警戒心がないという表現と考えられています。また、ベ
トナムからの技能実習生が始良市にいますが、彼らは日本の文化やしきたりを学んで
いて、きちんと挨拶してくれます。小・中学生に範を示す意味でも積極的にあいさつし
てほしいと思っています。



石田尾教授

質問⑦のところでボランティアについて聞いていますが、参加したいボランティア活動についてご意見ありますか？

私は始良市ジュニア・リーダークラブ「どんぐり」(始良市内に住んでいる中高生のボランティア団体)に所属していて、「マナビバ」(地域の子どもたちが勉強しに来れる場所)のボランティアをしています。ボランティアをしたいと思っている人にもっと発信していければいいと思っています。

(加治木高校生)

子ども食堂のボランティアをしてみたいです。以前、重富の子ども食堂に問い合わせましたが、支援する枠が空いていなかったなので、参加したくても参加できない状況があるということと、始良市のホームページには、子ども食堂のこともボランティアのこともあまり書かれていなかったなので、もっと発信してほしいと思いました。二つ目はSDGsについての取組です。重富海岸での「ブルーサンタでごみ拾い」でブルーの帽子をかぶってごみ拾いをするのに去年参加したんですが、ごみ拾いの活動について参加したい人もいると思うので、SNSを使って発信してもらえれば、参加できるようになると思います。

3つ目は海外の人と交流できるボランティアです。留学生や姉妹都市などこれから海外との関わりが増えるといいと思います。

(加治木高校生)



どのようなボランティアがあるのか、また、ボランティアを応募する時期について情報発信していく必要に気づかされます。

皆さんのボランティアや地域に対する熱い気持ちを吸い上げないといけないと思います。

子ども食堂、SDGs、国際交流など皆さんの気持ちをちゃんと救えるような様々な発信の仕方が必要だと思います。

海外については、ここ2、3年はコロナで前に進めなかったこともあります。友好都市、姉妹都市などこれから進めていこうと思います。



湯元市長

パラスポーツや障がいの有無が関係ないスポーツを体験する活動を増やしていきたいと思います。ポッチャを体験したことで、今まで関わることのなかった高齢者の方などとスポーツする機会が持てました。活動に参加する人が増えていけば、高齢者やパラスポーツをされている方への理解が深まると思います。 (加治木工業高校)



今年かごしま国体が開催されます。始良市では知的障がい者のバスケットボールが行われます。ボランティア募集は締め切ったかと思いますが、ボランティアをすることでスポーツを身近に感じたり、健常者とは違うスポーツに対する情熱と接することで自分を高めることができるのではないかと考えています。

始良市では障がい者スポーツに限らず、スポーツ大会をやっていこうと考えています。ボランティアも必要になってくるので、募集する時は高校生に対しても発信を気にしながらやっていくのでぜひ応募してください。



湯元市長

【お題③】

「今あなたが始良市に求めることはなんですか？」

「あらゆる場面での安全性」とまとめて答えましたが、私は、加治木高校の周辺に住んでいて、道が狭いとか、小学生が多いわりに横断歩道や信号がない所があるので、身近な安全性というか、小さい子の目線に立って安全なまちを作っていただけたらと思います。
(加治木高校)

今の時代、体を動かす機会が少なくなっていると思うので、スポーツ施設やボーリング場を作ってもらえれば子どもたちも遊んでくれると思います。(加治木工業高校生)

テスト期間中、電車を利用する生徒が多いのですが、混雑した場面が多くみられるので、電車の本数を増やして欲しいと思います。
(龍桜高校生)



市役所がやるべきことの中で市民の安全を守ることが一番です。始良市ができて 13 年ですが、これまでも道路が狭かったり歩道や信号がない場所を一つずつ直しているところですが、子どもの通学路、遊ぶところに行く道路の危険性についてチェックをしています。皆さんが気づいたところはぜひ提案してほしいと思います。

電車の本数は JR の都合もあり、路線によっては廃線になるかもしれないとの危機感もあります。運転手不足の問題からトラックでの輸送が維持できない中で、電車が見直されていくという可能性もあります。しかし、地元の人が利用してくれた方が本数が増える可能性もあがるので、ぜひ電車の利用についてもご協力ください。

2024 年は始良市が中興の時代を迎えます。

- ・新庁舎建設
- ・帖佐駅前が変わること、皆さんが歩きたくなる街を作ること
- ・加治木駅前から端山通りにかけて、子ども館を作っていること、加治木支所が新しくなること、道がきれいになること等(令和6年から始まり、令和 10 年くらいまで)
- ・蒲生という町がおきて 900 年のイベントを行うこと

以上のことが予定されています。

皆さんが発信すれば市役所も変わっていきます。今日は本当に貴重な意見を頂きました。ありがとうございました。



湯元市長